

科 目 名	総合実習(内外)	単 位 数	4 単位	学科・学年	生活総合科	3 年
使用教科書				副 教 材 等		
学 習 目 標	家庭科の分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を学び、家庭生活、学校生活、農業の経営・管理について理解を深め、生活の改善を図る実践的能力と態度を養うことを目指す。 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①知識・技能	生活の改善を図るために必要な知識について理解し、その知識を身に付けている。				
	②思考・表現・判断	生活の改善を図るために、自らが総合的に考え、分析し、工夫する力を身に付けている。				
	③主体的に学習に取り組む態度	自らの生活の改善を図るための知識や技術を体験的な学習を通して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。				
		評価方法\観点	①	②	③	
		学習状況観察	◎	○	○	自己評価の実施
		実習日誌	○	—	◎	毎時間記録し、学期ごとに提出
製作作品		◎	◎	◎	製作途中、終了後に提出	
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履 修 上 注 意	○ 教科内容はおもに実習を行う。 ○ この教科は、正規の時間割に組み込まれた時間内実習（3単位）と、放課後や長期休業中に行われる時間外実習（1単位）で構成されている。 ○ 特に時間外実習は100%の出席で評価されるので、無断欠席はしないこと。（欠席の際は、必ず学校に電話連絡をすること） ○ 毎時実習内容等を実習日誌に記録し提出すること。 ○ 鑑定競技の結果によっては、夏休み中に実習をかすことがある。					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動（評価方法）
1 学期	4 5 6 7	オリエンテーション 活動 校内美化活動に必要な作品製作 ふれあい市等販売物製作	6 10 8 10	○校内外における美化活動・ボランティア活動・学校家庭クラブ活動などを展開していくため、この講座で製作準備すること知る ○製作方法・手順を理解し、技術を身につける。	(実習状況観察) (実習日誌) (製作作品)
夏 休 み	7 8	施設清掃ボランティア実習 校内清掃実習 外部講師による実習 農家レストラン等の活動	8 8 12 12	○校内外の美化活動、ボランティア活動を行う。	(実習状況観察) (実習日誌)
2 学期	9 10 11 12	活動 校内美化活動に必要な作品製作 オープンスクール 学園祭・ふれあい市等販売物製作	12 8 12 10	○製作方法・手順を理解し、技術を身につける。 ○日頃の学習内容を中学生に教える。	(学習状況観察) (実習日誌) (製作作品)
3 学期	1 2	活動 ふれあい市等販売物製作 テーブルマナー実習 まとめ 校内清掃実習 ボランティア	16 4 4	○製作方法・手順を理解し、技術を身につける。 ○一年間の取り組みについて反省及びまとめを行う。 ○校内外の美化活動、ボランティア活動を行う。	(実習状況観察) (実習日誌)